

夫婦そろって米寿 ～米寿者慶祝訪問～

来年の3月に夫婦そろって88歳の米寿を迎える上山久義さん、喜久江さん＝昭和町3丁目＝に山岸市長から、お祝状と記念品が贈られました。

久義さんの長生きの秘訣は、とにかく歩いて体を動かすことで、「近所の会合などできる限り歩いて行くことにしている。」と笑顔で話されていました。

今年度の米寿者は148人。そのうち74人のお宅を市長が訪問します。



記念撮影する上山さんご夫婦と山岸市長

WRO2009 JAPAN大会に出場決定!

8月2日に福井工業大学を会場にWRO（ワールド・ロボット・オリンピック）福井予選会が行われ、中学生の部で勝山中部中学校の「ウォーリー」チームが優勝し、8月23日に科学技術館（東京都千代田区）で開催される全国大会への出場が決定しました。

昨年の全国大会へは勝山南部中学校と勝山北部中学校が出場していますので、今回も健闘が期待されます。



ロボットの調整中

やったぜ優勝!

勝山市からアスペン市へ3人派遣 ～青少年交流事業～

今回で14回を迎える友好都市アメリカ・アスペン市との青少年交流事業で、勝山市の高校生3人がホームステイによる交流をしました。

アスペン市訪問を前に、7月22日に結団式が行われ、派遣生徒代表の小沢君は「日本との違いを学んでみたい。」と抱負を述べました。

山岸市長からは「のびのびと楽しんで、しかし自分を失わず交流を深めてきてほしい。」と激励の言葉がありました。

一行は7月28日に日本を出発し、8月10日までの14日間の滞在・交流をしました。



左から久保君、小沢君、結川君、引率のスティープン国際交流員

恐竜の足跡お色直し

勝山駅から恐竜博物館までの歩道に描かれた恐竜の足跡を、7月29日に（元）まちづくり協議会の有志の皆さんが塗り直しを行いました。

足跡は、大きいものは直径30cm、小さいものは10cm程度で、約3kmの区間に約2,000個あり、平成12年の恐竜エキスポの頃に描かれたものです。

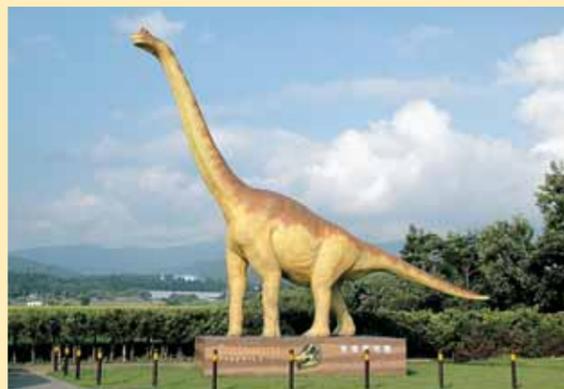
夏休み中ということで、小さな子どもたちも参加し、汗だくになっていました。



一つ一つ丁寧に仕上げます

国道416号沿いに恐竜現る

「ロードパーキング恐竜街道」内に大型草食恐竜ブラキオサウルスの巨大モニュメントが完成し、7月10日に除幕式が行われました。県の事業で恐竜博物館が設置したもので、高さ9m、全長10m。北谷町の恐竜化石発掘現場からは同じ竜脚類の化石が発見されており、1億2,000万年前の勝山で恐竜が歩いていた姿が想像できます。



国道沿いに出現したブラキオサウルス

荒土小児童が炭焼き体験

荒土町ふるさとづくり推進協議会がまちづくりの一環として取り組んでいる炭焼きを、荒土小学校5年生17人が体験しました。児童たちは7月3日に、原木となるブナの木を炭焼き窯に入れる作業を手伝い、14日に炭出し作業を行いました。1回の窯入れで約250kgの炭ができ、できあがった炭はうまいもん祭りや年の市などで販売されます。



原木を窯に入れる作業を体験する児童

エコ レンタルサイクリングやってます

かつやま恐竜の森で、自転車レンタルが始まりました。公園内外でサイクリングができます。

おすすめは幼児を乗せられるトレーラー付きの自転車。とっても軽くて、子どもたちにも好評の様子です。また、市内観光に利用して、「ゆめおーれ勝山」などで乗り捨てできるシステムもあります。

「まちなか観光にぜひ利用してほしいし、地図でおすすめコースをお教えします。」と代表の川尻進さんは話していました。



トレーラー付き自転車
2名乗車 合計体重40kgまでOK!

消防団協力事業所表示証を交付

近年、就業形態の変化により全国的に消防団員数が減少し、消防団員のサラリーマン率が高くなっています。

そのため、現在の消防団活動には団員が働く事業所の理解と協力が不可欠です。今年度から特に多くの団員が所属する事業所に表示証を交付することで、その事業所の社会貢献をアピールし、消防団との連携の一層強化を図っていきます。

7月2日に表示証を交付された団体は次の3事業所です。
JAテラル越前、日本特殊織物株、九頭竜森林組合



表示証を受け取る事業所代表者